

1-3-02

A型肝炎ワクチン(エイムゲンと Havrix)接種後の抗体価と
互換性に関する検討菊池 均¹、宮津 光伸¹、後藤 泰浩²、山本 悦子³¹名鉄病院 予防接種センター、²総合上飯田第一病院 小児科、³山本ウイメンズクリニック

【目的】A型肝炎ワクチンはトラベラーズワクチンとして、途上国への渡航者に広く接種されている。エイムゲンは0,1ヶ月で2回接種し6ヶ月後に3回目の接種を行う。出発までに2回接種する時間のない渡航者にはGSK社のHavrix1440を使用し1回接種で出発し、6ヶ月後に2回目の接種を行う。また2012年2月の全国的なエイムゲン品不足の際にはエイムゲン2回目の代用としてHavrix1440の半分量(Havrix720相当)を使用した。約6ヶ月後の接種時、あるいはその4週間以上後に希望者に対し抗体検査を行った。エイムゲンとHavrixの免疫効果を比較し、またエイムゲンとHavrixを交互に使用した場合の抗体価を検討した。

【方法】2008年8月以後の当センター受診者の接種記録と検査結果から該当者を抽出した。エイムゲンを約0,1ヶ月で2回接種し約6ヶ月後の3回目接種日に採血した群(EE群、887人)、3回目接種後4週間以上後に採血を行った群(EEE群、167人)、Havrix1440を1回接種し約6ヶ月後の接種日に採血を行った群(H群、53人)、2回目接種後4週間以上後に採血を行った群(HH群、5人)、1回目にエイムゲン、2回目にHavrix720を接種し約6ヶ月後に検査を行った群(Eh群、20人)について抗体価を比較した。検査はSRL社にてCLIA法で行った。防御抗体のカットオフ値は1.0であった。抗体価は対数正規分布に近似したためeを底とする対数処理を行った。

【結果】接種完了後の抗体価は以下のとおりであった。HH群 対数平均2.09、抗体陰性率0%、EEE群 対数平均2.24、抗体陰性率1.2%HH群とEEE群に差は見られなかった($p=0.53$)。H群 対数平均0.46、抗体陰性率24%、EE群 対数平均0.98、抗体陰性率17.4%、Eh群 対数平均1.45、抗体陰性率0%であった。H群とEE群($p=0.0003$)、EE群とEh群($p=0.043$)、H群とEh群($p=0.00$)で有意に差があった。抗体価はH群<EE群<Eh群の順となった。

【考察】エイムゲンを3回、またはHavrix1440を2回接種し基礎接種を完了した後はほぼ100%抗体獲得されており、両者に抗体価の差は見られなかった。しかし海外渡航者の多くが約6ヶ月後の接種を待たずに不完全接種で海外へ渡航する例が多い。従来出発前にエイムゲン2回またはHavrix1440の1回接種で短期的に免疫が得られると考えられてきたが、今回の結果でEE群、H群で抗体上昇が不十分の例がみられた。Eh群は全例で抗体獲得されていた。1回目にエイムゲンを接種し2回目にHavrix720を接種すると免疫は十分に上昇することが示された。